

常任委員会



総務委員会

開会日 11月21日(金)・26日(水)・27日(木)  
案件 議案18件・報告2件等

●ワンタッチパーテーションの買入れについて

問 先日の救援センター開設訓練では、職員がワンタッチパーテーションの立ち上げをしていたが、今後の訓練では、地域の方に行っていたいてはどうか。簡単さが分かってよいと思う。

答 訓練を一度に5つの学校で行う。その中で、ワンタッチパーテーションの立ち上げ方なども一緒に行いたいと考えている。

問 今回、2種類のワンタッチパーテーションを40張ずつ、計80張を配備することだが、今後の買入れ計画は。

答 来年度は救援センターごとに調整し、それぞれの避難想定収容数の約半分をまず備蓄できるようにしたいと考えている。

問 買入れに当たり、他の自治体などの取組を研究したか。

答 国が避難所の運営についてガイドラインを出してきた。その中でワンタッチパーテーションのようなもので間仕切りをすることにより、プライバシーを保護するようにとうたっており、全国的にもこのようなものの備蓄が増えていると思う。

●令和7年度豊島区一般会計補正予算(第4号)

問 債務負担行為の橋梁の整備事業経費について、西巣鴨橋が8年3月に開通すると聞いているが、このスケジュールに変わるはないか。

答 予定どおり8年3月末に開通できるように工事を行っている。

問 春日通り側のアプローチの下には、工事前に2町会の防災倉庫があり、今は別のところで対処しているが、工事完了後に元に戻るという認識でよいのか。

答 橋が完成したときには橋桁の下に空間ができるため、その空間に防災倉庫を設置する場所を確保したいと考えている。地元町会と調整しながら進めていきたい。

問 ごみ置場についても今後の協議となると思うが、対応について検討しているか。

答 工事期間中も仮置場を確保して進めてきた。新しいごみ置場については、清掃事務所とも相談し、橋桁下の空間を有効活用しながら、地元の方々と調整をした上で、決めていきたいと考えている。

区民厚生委員会

開会日 11月21日(金)・27日(木)  
案件 議案9件・陳情5件・報告4件等

●豊島区住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例(一部改正)

問 区民の皆様からの苦情を受けての条例改正であり、業務改善命令や停止命令を含めた厳格な対応を求めたが、改めてどのような取組となるのか。

答 今回の条例案では、法に基づく業務改善命令、停止命令のほかに、条例に基づく指導、勧告、公表を設けた。法に基づく改善命令等と併せて、指導を徹底していきたい。

問 過度な規制強化は違法民泊を誕生させるのではないかという話もある。違法民泊への具体的な対応は。

答 違法民泊は、旅館業法違反となる。この条例案の外の話となるが、違法民泊疑いの通報を受けた際は、現地を確認、事業者・所有者にアクションを取り実態を把握し、不適切な場合は是正指導を行っている。悪質な違法民泊等が出てきた際は、警察と連携を取って対応する。

問 第5条にて細かく規定されていた消防機関に対する事前相談記録書の提出書類が削除されている。削除された内容がどのような形で網羅されているのか。

答 現行は、条例及び規則それぞれに提出書類を規定している。今回、提出書類について規則に委任する整理をした。

問 提出書類を規則で整理した点はなかなか区民の方などは理解し難い。区民にも分かりやすく情報発信を。

答 届出をする時の手引がある。手引のほうに提出書類を分かりやすく提示したいと考えている。

●固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情

問 軽減措置は、青色申告者を含む小規模事業者だけではなく、小規模住宅にあたる全ての区民に対して適用されるという受け止め方でよいのか。

答 そのとおりである。実際に影響があるのは多くの区民であり、事業者だけではない。

問 小規模住宅用地の軽減措置について、手続は一切なく、軽減された税の請求が本人にされるという理解でよいのか。

答 そのとおりである。

都市整備委員会

開会日 11月25日(火)  
案件 報告5件等

●第五次豊島区一般廃棄物処理基本計画(素案)について

問 SAF(持続可能な航空燃料)等、廃油の活用が注目されているが、計画に記載はあるか。

答 家庭の廃食油を事業者と協働しながら回収していくことと、その情報発信により区民に興味を持っていただき更に廃食油の分別回収を進めることを計画に記載している。

●令和6年度東京二十三区清掃一部事務組合一般会計決算概要について

問 豊島清掃工場について、清掃一部事務組合の中では延命化していく方針になっているが、建て替えについて、区の考えは。

答 延命化工事後については未定。より効率のいい焼却ができる清掃工場となるような延命化工事をしてほしい。

●東池袋四丁目35番地区防災街区整備事業の状況について

問 整備方針にあるコレクティブハウス導入を決めた経緯は。

答 当事業の中でコミュニケーション形成という地域課題を解決していくことが必要と考えた。事業者との協議でコレクティブハウスにより対応可能な提案があり、導入する方針とした。

●土砂災害警戒区域内の擁壁について

問 豊島区擁壁等対策工事等助成金の助成額は。擁壁の補強工事にかかる金額はどれくらいか。

答 擁壁の補強工事自体にかかる金額は現場の状況によって異なる。区の助成制度としては、工事費の3分の2、かつ、上限金額1千万円である。

●「第三次豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画(素案)」のパブリックコメントの実施について

問 近年の大型化、重量化した自転車も安全に停められるような駐輪場整備が必要では。

答 区民のニーズに合わせ、大型化、重量化した自転車もしっかりと受け入れていく。

問 計画期間が10年間というのは適正か。度重なる道路交通法の改正や新しいサービスの誕生等に即応できることも必要では。

答 5年後に中間見直しをする予定。その他、社会情勢の変化があれば、改正を考えたい。

子ども文教委員会

開会日 11月25日(火)  
案件 議案4件・陳情1件・報告4件等

●豊島区立体育施設の指定管理者の指定について

問 指定管理者の提案内容及び審査総評に記載のある「豊島らしさ」とは。

答 基本構想・基本計画や豊島区スポーツ推進計画の方向性である、多様な区民が公平にスポーツをできる仕組み作りを「豊島らしさ」と評価した。

問 巣鴨体育館、雑司が谷体育館ともに3社の応募があったとのことだが、応募事業者のバリエーションは増えているか。競争が働いているか。

答 本区に指定管理の経験がなかった事業者を含め、複数社から応募があった。競争が働いていると認識している。

●豊島区立図書館及び豊島区立区民集会室の指定管理者の指定について

問 図書館にPFIの手法を導入することについて検討は。

答 図書館は新しく建てるよりも改修によりリニューアルさせているが、その時の社会情勢に応じて最適な手法を検討する。

問 図書館は原則会話できないと思うが、コミュニケーションスペースを設ける際は、施設の個室等を活用するのか。

答 改修・改築する図書館は、ゾーニングをして、声を出していいフロアと静かに本を読むフロアを分ける。既存施設は難しいところがあるが、別の集会室等の活用も含め検討する。

問 池袋第三区民集会室、目白第一区民集会室の利用率が低い原因は。

答 区民ひろばや図書館に併設している集会室は全体的に利用率が低い傾向にあるため、活用促進を検討している。

●不登校対策総合計画(素案)パブリックコメントの実施について

問 本計画に子ども向けと保護者向けのメッセージ、両方がある理由は。

答 本計画のメッセージを伝える対象について委員会で検討し、子ども、保護者、関係機関等全ての不登校に関わる人たちに理解してもらえるものにした。全体的に区民の方向性を理解し、各々が協力し合って、子どもたちの助けになるようにした。

※コレクティブハウス…独立した住戸と居住者が共同で運営する共用空間(リビング・ダイニング・キッチン等)を持つ賃貸住宅。

■お詫びと訂正 No.307号の7ページ「常任委員会Q&A」の「総務委員会」の間の原稿に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。(誤)返礼金 (正)返礼品